



Memsource

基本操作マニュアル

～Cloud 編～

Ver.01
2018.04.27

内容

はじめに.....	3
Memsorce 入門編	3
Memsorce の構成	3
ユーザータイプ	3
Memsorce Cloud 入門編	4
サインイン	4
ユーザーアカウント作成.....	4
ログイン情報をメールする	6
初期設定.....	6
プロジェクト作成	8
プロジェクト編集	9
プロジェクトテンプレート	10
ジョブ作成.....	10
複数翻訳者の指定	11
オンラインストレージから追加	11
ファイルインポートの設定.....	12
翻訳メモリ作成	13
ID 付きのエクセル TM インポート	15
アライン.....	15
用語ベース作成	17
用語と属性の新規追加.....	19
「上書き」モード	19
Synonyms （同義語）の登録方法.....	20
プロジェクト設定	21
翻訳メモリ設定	21
ワークフローステップ別の翻訳メモリ設定.....	22
用語ベース設定	23
解析	24
通常（デフォルト解析）	25
ポストエディティング.....	26
比較.....	26
解析の実行	26
一致率の定義	28
一括翻訳.....	28

空欄セグメントのみ一括翻訳	29
一括翻訳のベストプラクティス	30
一括翻訳の実行	30
疑似翻訳 (Pseudo)	31
疑似翻訳の実行	31
ロックとロック解除	33
ファイル分割	33
ファイル分割の実行	35
翻訳者へメール送信	36
翻訳作業の確認	37
訳文完成ファイルダウンロード	37
変更履歴をエクスポート	38
高度なプロジェクト設定	38
プロジェクト・ジョブ共有機能	38
プロジェクトの自動作成	41
お支払いに関する FAQ	44
Q. 無料トライアルはどこから申し込めますか？	44
Q. もうすぐ無料トライアルが終了します。期間を過ぎるとどうなりますか？	44
Q. 購入したいのですが、どうすればいいですか？（購入方法について）	44
Q. Memsorce への支払いはどのような方法がありますか？	45
Appendix	47
QA チェック項目一覧	47
オートメーションウィジェット	49
プロジェクトのバックアップ	55
オンラインストレージとの連携	56
外部ツールとの連携	58
2 段階認証	58

はじめに

本マニュアルではクラウド翻訳支援ツール **Memsources Cloud**（メムソースクラウド）の基本操作をご紹介します。

特に記載がない限り、**Memsources** のスタンダードエディションである**チーム版**について説明しています。本書の記載は、製品のバージョンアップ等の事情により、実際と異なる場合がございます。

製品に関する情報は、**Memsources** ブログにも掲載しております。

Memsources ブログ日本語版：<https://www.memsources.com/ja/blog/>

Memsources 入門編

このセクションは、**Memsources** を利用する全てのユーザー向けの入門ガイドです。

Memsources の構成

Memsources は翻訳プロジェクトの管理を行う **Memsources Cloud** と、翻訳作業を行う **Memsources Editor** に分けられます。

Memsources Cloud (メムソースクラウド)	プロジェクトマネージャー (PM) が、 Memsources の環境と翻訳プロジェクトに必要な以下の管理を行う環境です。 <ul style="list-style-type: none">プロジェクト (JOB と呼ばれるファイルで構成)翻訳メモリ (TM)用語ベース (TB)	Web 版
Memsources Editor (メムソースエディタ)	翻訳者 (Linguist) が実際に翻訳作業を行う環境。「エディタ」と呼ぶこともあります。Web ブラウザ上で利用可能な Web 版と、ローカル PC にインストールして使用するデスクトップ版があります。	Web 版 デスクトップ版

基本操作マニュアルも、**Cloud 編**（本書）と、**Editor 編**に分かれています。

ユーザータイプ

Memsources を利用するユーザーにはいくつかのタイプがあります。

- 管理者
- プロジェクトマネージャー
- リンギスト（翻訳者）

- ゲスト
- サブミッター

Memsource Cloud 入門編

このセクションは、管理者または PM（パーソナル版とチーム・スタート版含む）向けの入門ガイドです。翻訳者の方は別冊「Memsource Editor 基本マニュアル」をご覧ください。

サインイン

Memsource クラウドにアクセスするには、ユーザーアカウント名とパスワードが必要です。

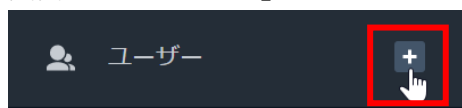
推奨ブラウザ：Google Chrome, Firefox または Safari です

対応ブラウザ：Google Chrome, Firefox, Safari, Microsoft Edge および Internet Explorer の最新の 2 バージョン

ユーザーアカウント作成

ご自身以外の PM と、Memsource 上で翻訳を依頼する翻訳者用のユーザーアカウントを作成します。

1. 画面左の「ユーザー」タブの+ボタンか、ユーザーの「新規作成」を押下します。



2. 必要情報を入力し、「作成」ボタンを押下します。

ユーザーの新規作成

名

姓

Email

ユーザー名

パスワード

パスワード再入力

ユーザータイプ

リンギスト(翻訳者)

タイムゾーン

Europe/London

TBの用語を編集可能

☐

TMの翻訳を編集可能

☐

MTを有効にする

☒

アクティブ

☒

Memsources ニュースレターを受け取る

☒

課金率ルール

価格表

備考

関連性

作成

***ユーザー名**は、Memsources クラウド全体で一意（重複なし）である必要があります。削除されたユーザー名を使用することはできません。一意にするため、接頭辞の追加を推奨します。例えば、会社 ABC と DEF に j.doe というユーザーがいる場合、区別するために ABC_j.do と DEF_j.doe とします。

***ユーザータイプ**は、管理者であれば「プロジェクトマネージャー」、翻訳者は、「リンギスト(翻訳者)」を選択します。

***タイムゾーン**は、登録するユーザーごとに設定します。

***翻訳者ユーザー**は、割り振られたジョブにアクセスできますが、自分で **TB** を設定することができません。但し、「**TB の用語を編集可能**」にチェックがある場合、翻訳者が持っている **TB** をプロジェクトにアップロードして使用できます。

3. セットアップ>アクセスとセキュリティから、翻訳者ユーザーのアクティブ・非アクティブの切替設定を確認します。チーム版では登録翻訳者数は無制限ですが、同時稼働人数は 1 アカウントにつき 10 名までです。以下のチェックを **ON** にしておくと、依頼しているジョブがゼロになった時点で自動的にアカウントが非アクティブに切替できます。

アクセスとセキュリティ

☒ リンギストにWeb エディターの使用を許可する
☒ リンギストにファイルのダウンロードを許可する
☒ ユーザーのメタデータをMemsource エディター/Web エディター内でリンギストに表示
☒ Memsourceの技術サポートにアクセスする許可
☒ リンギストを自動的に有効/無効にする
☒ ベンダーをプロジェクトに採用
☒ 自分の組織をベンダーとして検索可能にする
☐ ワークフローの直前のステップが完了するまで、リンギストは作業を開始できない
☒ リンギストはロックされたセグメントの編集が可能
☒ リンギスト(翻訳者)はソースを編集できます

セッションがタイムアウトしました

24時間

保存

※チーム版以上は、1PMアカウントにつき、2 個の無料の「ゲスト」アカウントも作成できます。紐づけられたクライアントのプロジェクトのみ、参照できるアカウントです。

ログイン情報をメールする

ユーザーを作成したら、「ログイン情報をメールする」ボタンを使用してログイン情報を送信します。メールには、ユーザーアカウント名と、パスワードリセット用の URL が含まれています。複数のユーザーにチェックを入れ、一度に複数のユーザーを対象に送信することもできます。

ユーザー

新規作成

インポート

編集

ログイン情報をメールする

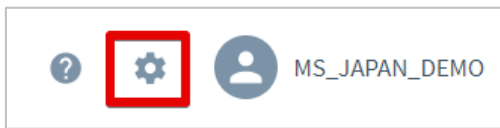
削除

<input type="checkbox"/>	22/11/2	# ▲	姓	名	ユーザー名	Email
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	1			MS_JAPAN_DEMO	

初期設定

Memsource で翻訳プロジェクトを開始する前に必要な初期設定を行います。

Memsource クラウドの画面右上に表示されるセットアップアイコンをクリックすると、各種設定を行う画面(「**セットアップメニュー**」)に移動します。各種設定はここから行います。



「ドメイン」・「サブドメイン」・「クライアント」

プロジェクト、TM、TB を分類するのに使います。たとえばドメインは部署名、サブドメインは翻訳の分野や製品名、クライアントはお客様名といった形でご利用頂けます。初期設定の時点での設定が推奨ですが、設定なしでもシステムを利用することは可能です。

「ワークフローステップ」

デフォルトでは、翻訳、校正、ネイティブチェックの 3 つが表示されますが、名称を変更したり、必要なワークフローステップを追加したりできます。

ワークフローステップ			新規作成	削除
名称	略語	オーダー		
<input type="checkbox"/> 翻訳	T	10		
<input type="checkbox"/> 校正	R	20		
<input checked="" type="checkbox"/> ネイティブチェック	NC	30		

*「オーダー」は、ワークフローステップが実行される順序を定義します。上記の場合、「翻訳→ネイティブチェック」というワークフローステップのプロジェクトは作成できますが、「翻訳→ネイティブチェック→校正」という順序のプロジェクトは作成できません。

メールテンプレート

メールテンプレートを使用して、メムソースから送信されるメールの内容を変更できます。セットアップメニューの「管理」の下にある、「メールテンプレート」をクリックします。

メールテンプレート			
		新規作成	削除
種類	名称	件名	本文
<input checked="" type="checkbox"/> アサインされたジョブ	新規案件(en)	新規案件	<p>[linguist.firstName]様 新規案件のご依頼です。</p> <p>[jobInfo] ファイル: [job.name] 言語: [job.sourceLang] → [job.targetLang] 納期: [job.dateDue] [/jobInfo]</p> <p>作業を開始するにはMemsources Cloudにサインインしてください。 [project.url]</p> <p>ご質問などございましたら、お問い合わせください。 よろしくお願いいたします。</p> <p>[sender.firstName] [sender.lastName] [sender.email]</p> <p>-----</p> <p>翻訳者のためのGetting Started Guide: http://wiki.memsources.com/wiki/Getting_Started_Linguists</p> <p>サインイン: [system.url] ユーザー名: [linguist.userName]</p> <p>パスワードをお持ちでない場合は、こちらのリンクをクリックし、作成してください。 [system.url.passwordReset]</p>
<input type="checkbox"/> ジョブステータス変更	変更されたジョブステータス(en)	プロジェクト[project.name]: [jobs.count]ジョブ [jobs.newStatus]	<p>[recipient.firstName]様 お知らせユーザー[linguist.firstName] [linguist.lastName] ([linguist.email])による</p>

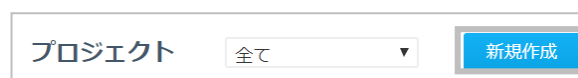
- テンプレートの新規作成時は、選択したテンプレートの種類ごとに、ユーザーの設定言語別にデフォルトの本文が自動で設定されます。
- 種類が「ログイン」または「アサインされたジョブ」のメールテンプレートは送信時に表示されるプルダウンメニューから、どのテンプレートを送信するかを選択できますが、それ以外の種類（「自動送信メール」）のテンプレートが複数ある場合、一番上のものが採用されます。新規作成したテンプレートを自動送信メールに適用する場合、既存のテンプレートを一旦削除します。
- 自動送信メールは言語により切替が出来ませんので、英語のみの表記とするか、1つのテンプレート内に日英併記をします。
- テンプレート内に使用可能なマクロ（動的にユーザー名などを取得するための書式）の一覧は以下のページを参照します。

https://wiki.memsources.com/wiki/Template_macros

プロジェクト作成

プロジェクトは翻訳対象ファイル（JOB）を管理するフォルダのようなものです。翻訳対象のファイルに加え、機械翻訳やアクセス権限などプロジェクト毎に設定を変更できます。

1. 画面左のプロジェクトタブの+ボタンまたは、プロジェクトの「新規作成」を押下します。



2. 名称、原文言語、訳文言語を入力します。

プロジェクトの新規作成

テンプレートを使用

名称

クライアント

ドメイン

サブドメイン

原文言語

訳文言語

フランス語	英語
英語 (アメリカ)	
英語 (イギリス)	
韓国語	

- 「設定」については推奨設定がございますので、以下ご覧ください。
 - 機械翻訳>プロジェクト MT** デフォルトでは無料の **Microsoft with Feedback** が選択されます。秘匿性の高い原稿を扱われる場合には、「無効」 または 有償の MT エンジンとされることを推奨します。
 - アクセスとセキュリティ>ユーザーのメタデータを Memsorce エディタ/Web エディタ内でリングストに表示** チェック無しが推奨です。TM や TB の作成者情報が Memsorce エディタ上に表示されます。
 - ワークフロー** 翻訳→校正のように、**Memsorce** 内で翻訳のバージョン管理を行いたい場合、該当のワークフローステップを選択します。
注) ワークフローステップはチーム版以上でご利用可能です。
 - アクセスとセキュリティ>ワークフローの直前のステップが完了するまで、リングストは作業を開始できない** 直前のワークフローステップが完了するまで、次のワークフローステップの担当者が作業を開始できないようにする設定です。
- 「作成」ボタンを押下すると、プロジェクトの作成は完了です。

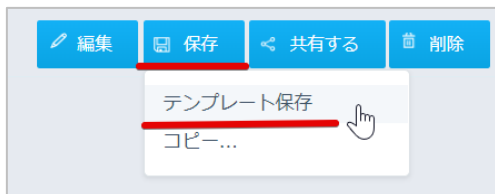
プロジェクト編集

一度作成したプロジェクトの設定は、いつでも変更可能です。プロジェクト画面右上「編集」をクリックします。



プロジェクトテンプレート

1. 対象のプロジェクトをテンプレートとして保存するには、プロジェクト編集画面から「保存」→「テンプレート保存」を選択します。



2. プロジェクトの新規作成時に、使用したいテンプレートを選択します。



ヒント：利用可能なテンプレートはセットアップメニューから確認できます。

ジョブ作成

プロジェクトの作成が完了したら、翻訳対象のファイルをアップロードします。これを「ジョブの作成」と呼びます。

1. プロジェクト上の **Job** の右側に表示されている「新規作成」ボタンを押下します。



2. 「ファイル選択」ボタンをクリックし、翻訳対象のファイルを選択します。
3. 「リングストを選択」のフィールドに翻訳者を指定します。
4. 必要な場合、「一括翻訳」を選択します。ジョブの作成時にセットアップメニューにある「一括翻訳」の設定で翻訳メモリ・機械翻訳が流し込まれます。
5. 決まっていれば「納期」を設定します。
6. 指定した翻訳者にメールで通知する場合、「リングストに通知」を設定します。

なお、翻訳者の指定・メールの送信は、後からでも可能です。本マニュアル「[翻訳者へのメール送信](#)」を参照します。ご自身で翻訳を進められる場合には、こちらの翻訳者指定・メール送信の工程は不要です。

新規ジョブ

ファイル **ファイル選択** Memsourc...イル.docx

オンラインストレージから追加する

翻訳

訳文言語 ☒ 英語 (en) **リンギストを選択**

一括翻訳 ☐

納期

リンギストに通知 ☒ 新規案件(en) 間隔 同時に

校正

複数翻訳者の指定

翻訳者は複数設定可能です。たとえば以下の例ですと、最初に「translator sample」さんに案件の打診メールが送信され、5 分後に「translator sample2」さんに案件の打診メールが送信されます。「translator sample」さんが Memsourc クラウドにログインして、ジョブの依頼を承諾すると、その時点で、打診メールの送信は止まり、他の翻訳者は本ジョブにアクセスできなくなります。

翻訳

訳文言語 ☒ 英語 (en) translator sample translator sample2 translator sample3

一括翻訳 ☐

納期

リンギストに通知 ☒ 新規案件(en) 間隔 5 分

オンラインストレージから追加

翻訳対象ファイルは、ローカルドライブの他、FTP /Google Drive/ Dropbox といったオンラインストレージからも選択できます。詳しくは Appendix「[オンラインストレージとの連携](#)」を参照します。

新規ジョブ

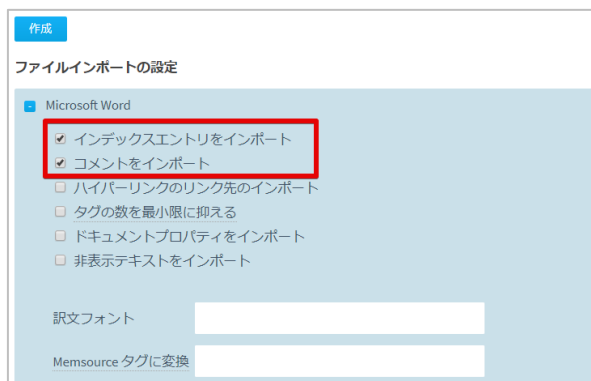
ファイル **ファイル選択** 選択されていません

オンラインストレージから追加する

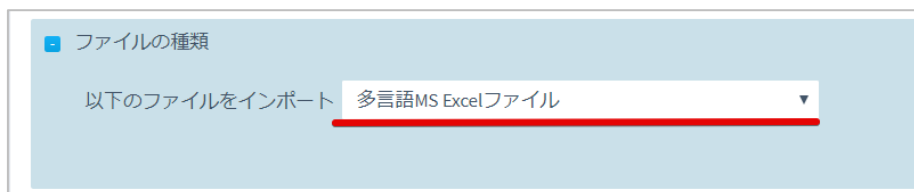
ファイルインポートの設定

デフォルト以外のインポート設定が必要な場合、「作成」ボタンの下にあるファイルインポートの設定を選択します。以下は、インポート設定の例です。

- ワードファイルの索引と、コメントをインポートする設定は以下の通りです。



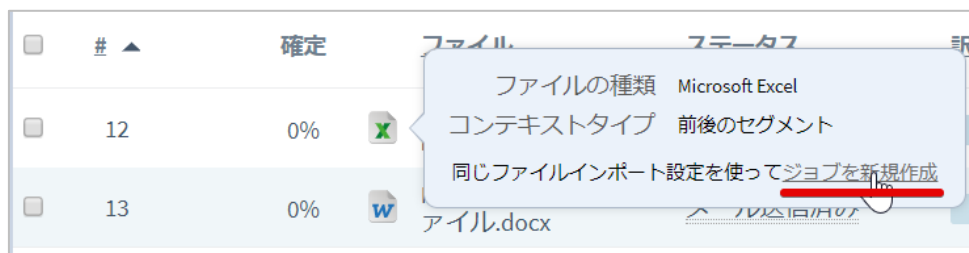
- ワードファイルが PDF から作成された場合など、アップロード後に多数のタグがエディタに表示される場合があります。タグが多すぎて翻訳作業に支障がありそうな場合、「タグの数を最小限に抑える」オプションで再インポートすることができます。こちらのオプションは、場合によっては本来必要なタグを削除する可能性があります。「一括翻訳」→「空欄セグメントに原文をコピー」→「訳文ファイルダウンロード」で取得したファイルと元のドキュメントを比較し、タグが不正に削除されていないかご確認ください。
- 多言語エクセルファイルのインポートの場合「ファイルの種類」で、「多言語 MS Excel ファイル」を選択します。



ファイルインポート設定が終わったら、以下の手順でファイルをアップロードして、ジョブ作成を完了します。

- 「作成」ボタンを押下すると、ファイルがインポートされ、ジョブが作成されます。
注) 作成済みジョブのインポート設定を変更することはできません。設定を間違えてインポートしてしまった場合、再度インポートが必要です。
- 既存のインポート設定と同じものを使用したい場合、ファイルのアイコンをマウスオ

オーバーした時に表示されるツールチップに表示される「同じファイルインポート設定を使ってジョブを新規作成」リンクを使用します。



翻訳メモリ作成

新しい翻訳メモリを作成し、シンプルなエクセル形式で翻訳メモリをインポートします。
ヒント：既存の TMX 形式の翻訳メモリがある場合も、エクセルと同様にインポートできます。

1. 事前に、エクセル形式で翻訳メモリを準備しておきます。1 行目に言語コードを入れ、2 行目以降に翻訳メモリを追加します。※セルの結合などを行わないでください。

	A	B
1	ja	en
2	Memsourcesは、2010年、チェコ共和国のプラハにおいて設立されました。	Memsources was founded in Prague - Czech Republic in 2010.
3	翻訳業界全体での「サプライチェーン」に様々な機能を提供したかったのです。	We wanted to offer various to whole translation industry's "supply chain"

2. 画面左の翻訳メモリタブの+ボタンまたは、翻訳メモリの「新規作成」ボタンから、新しい翻訳メモリを作成します。



3. 必須項目（名称、原文言語、訳文言語）と、必要があれば、クライアント、ドメイン、サブドメイン、および備考を指定して、「作成」を押下します。

翻訳メモリ新規作成

名称

原文言語 フランス語 ▼

訳文言語

- フランス語
- 英語
- 英語 (アメリカ)
- 英語 (イギリス)

クライアント ▼

ドメイン ▼

サブドメイン ▼

備考

作成

4. 新しい翻訳メモリが作成できたら、次は翻訳メモリをインポートします。「インポート」ボタンをクリックした後、インポート元のエクセルファイルを選択します。



5. 無事インポートが完了すると、最後にインポートしたファイルの右側に青色のアイコンが表示され、インポートされたセグメント数が表示されます。

日本語⇒英語プロジェクト

31

原文言語 JA

名称 日本語⇒英語プロジェクト

訳文言語 EN

作成者 MS_JAPAN_DEMO

セグメント数 23

作成日時 19 3 08:14

ドメイン デモ用

管理者 MS_JAPAN_DEMO

クライアント ABC会社

最後にインポートしたファイル 

ID 付きのエクセル TM インポート

セグメントのみではなく、ID も含めてインポートをする方法です。追加で 2 つのオプションが可能です:

削除	セグメントを削除するには、ID の後に delete を追加
更新	セグメントを更新するには、ID の後に update を追加

A	B
ID	ja
Lokjos76wxw2pn4Y2uMih3Eg <u>delete</u>	{bi>Memsourceは、2010年、 国のプラハにおいて設立され
Y85PkG3TgWv2ym4kOLMSztJh <u>update</u>	翻訳業界全体での{i>「サブ ラン」<i>に様々な機能を提供し です。

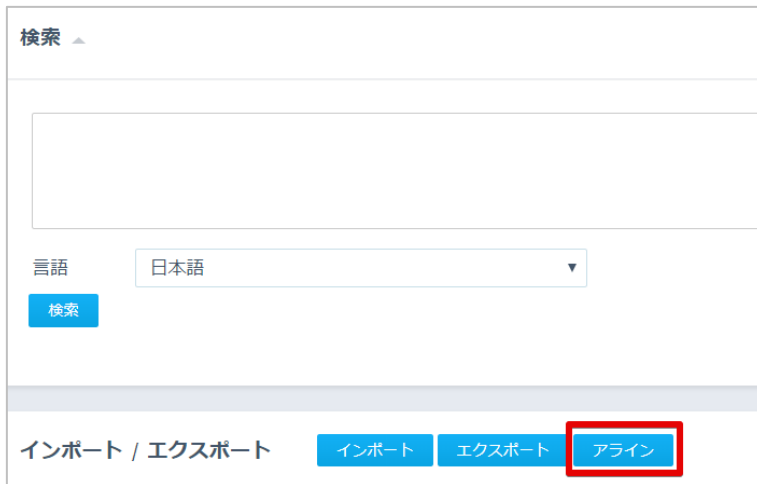
|update オプションの有無にかかわらず、新規にインポートされたセグメントは、コンテキストを元に重複削除されます。前後の文脈が違えば、同じ原文に対して、複数の訳文がインポートされます。前後のセグメントを常に含めた状態でのインポート／エクスポートが推奨です。前後のセグメントがない場合、同じ原文に対して複数の訳文はインポートされません。

A	B	C	D	E
ID	ja	prev	next	en
Lokjos76wxw2pn4Y2uMih3Eg delete	{bi>Memsourceは、2010年、チェコ共和国のプラハにおいて設立されました。<bi>		我々の目標は、使い易くフル機能を備えた{b>クラウド型の翻訳プラットフォームを開発することでした。	{bi>Memsource<bi>{b> was founded in Prague - Czech Republic in 2010.

アライン

CAT ツールを使用せずに過去に翻訳されたコンテンツを、翻訳メモリの形式に変換する機能を「アライン」と呼びます。これは翻訳メモリシステムの標準的な機能です。

Memsource 上で、単一のファイル同士の組合せまたは、複数まとめてアラインすることができます。アラインを起動するには、コンテンツをインポートしたい翻訳メモリの横の「アライン」ボタンをクリックします。

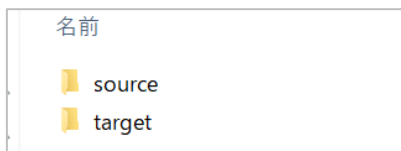


The screenshot shows the Memsource search and import/export interface. At the top is a search bar with the label '検索' and a dropdown arrow. Below it is a large empty text area. Further down is a language selection section with the label '言語' and a dropdown menu currently set to '日本語'. Below the language menu is a blue button labeled '検索'. At the bottom of the interface is a section labeled 'インポート / エクスポート' containing three buttons: 'インポート', 'エクスポート', and 'アライン'. The 'アライン' button is highlighted with a red rectangular box.

2つのオプションが利用可能です:

- 1つの原文 + 1つの訳文ファイル
- 複数ファイル

複数ファイルオプションは、複数ファイルを一括で処理する時に便利です。対になっているファイル（原文／訳文）は、全く同じ名前で、**source** と **target** というフォルダに対応するファイルを格納して **Zip** する必要があります。



Memsource にインポートされたファイルは、コンテンツごとに対になり、原文、訳文、ファイル名の3列のエクセルフォーマットに変更されます。必要があれば、エクセル上で編集後、翻訳メモリにインポートします。

場合によっては、アライン専用の翻訳メモリを作成します。もともとアラインから作成された **TM** と、翻訳作業による **TM** との区別が容易になります。コンテンツ自体に差分があったり、原文と訳文のフォーマットが一致していなかったり、複数の原因により、うまくアラインが機能しない場合があります。解決策の1つとして、エクセル自体は編集せずにプロジェクトに設定される **TM** にアライン結果をインポートし、参考資料としてアラインしたエ

クセルを添付することです。明らかに横並びが異なると翻訳者が判断した場合、参考資料のエクセルファイルを参照すると、本来の翻訳がその近くに存在するはずです。

アラインで出力されたエクセル形式のイメージ

	A	B	C
1	en	es	filename
2	{b>CHARTER OF {1}{b>FUNDAMENTAL RIGHTS<1}{b> OF THE EUROPEAN UNION	{b>CARTA DE LOS DERECHOS FUNDAMENTALES DE LA UNIÓN EUROPEA	charter - spanish.docx
3	The European Parliament, the Council and the Commission solemnly proclaim the following text as the Charter of Fundamental Rights of the European Union:	El Parlamento Europeo, el Consejo y la Comisión proclaman solemnemente en tanto que Carta de los Derechos Fundamentales de la Unión Europea el texto que figura a continuación:	charter - spanish.docx
4	The peoples of Europe, in creating an ever closer union among them, are resolved to share a peaceful future based on common values.	Los pueblos de Europa, al crear entre sí una unión cada vez más estrecha, han decidido compartir un porvenir pacífico basado en valores comunes.	charter - spanish.docx
5	The Union contributes to the preservation and to the development of these common values while respecting the diversity of the cultures and traditions of the peoples of Europe as well as the national identities of the Member States and the organisation of their public authorities at national, regional and local levels; it seeks to promote balanced and sustainable development and ensures free movement of persons, services, goods and capital, and the freedom of establishment.	La Unión contribuye a defender y fomentar estos valores comunes dentro del respeto de la diversidad de culturas y tradiciones de los pueblos de Europa, así como de la identidad nacional de los Estados miembros y de la organización de sus poderes públicos a escala nacional, regional y local; trata de fomentar un desarrollo equilibrado y sostenible y garantiza la libre circulación de personas, servicios, mercancías y capitales, así como la libertad de establecimiento.	charter - spanish.docx
6	To this end, it is necessary to strengthen the protection of fundamental rights in the light of changes in society	Para ello es necesario, dándoles mayor proyección mediática, reforzar la protección de los	charter - spanish.docx

用語ベース作成

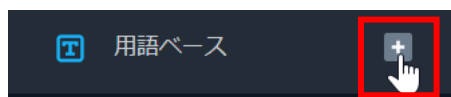
新しい用語ベースを作成し、シンプルなエクセル形式で用語をインポートします。

注) 既存の TBX 形式の用語ベースがある場合も、エクセルと同様にインポート頂けます。

1. 事前に、エクセル形式で用語ベースを準備しておきます。1 行目に言語コードを入れます。

	A	B	C
1	ja	en	
2	メムソース	Memsource	
3	車	vehicle	
4	ソリューション	solution	
5	製品	Product	
6			

2. 画面左の用語ベースタブの+ボタンか、用語ベースの「新規作成」を押下します。



3. 必須項目（名称、言語）と、必要があれば、クライアント、ドメイン、サブドメイン、および備考を指定して、「作成」を押下します。

用語ベースの新規作成

名称

言語
 フランス語
 英語
 英語 (アメリカ)
 英語 (イギリス)

クライアント

ドメイン

サブドメイン

備考

作成

4. 新しい用語ベースが作成できたら、次は用語ベースをインポートします。「インポート」ボタンをクリックした後、インポート元のエクセルファイルを選択します。



5. 無事インポートが完了すると、最後にインポートしたファイルの右側に青色のアイコンが表示され、インポートされた用語数が表示されます。

日本語⇒英語プロジェクト

12

言語 EN JA

名称 日本語⇒英語プロジェクト

用語 8

作成者 MS_JAPAN_DEMO

ドメイン デモ用

作成日時 20 3 06:38

クライアント ABC会社

管理者 MS_JAPAN_DEMO

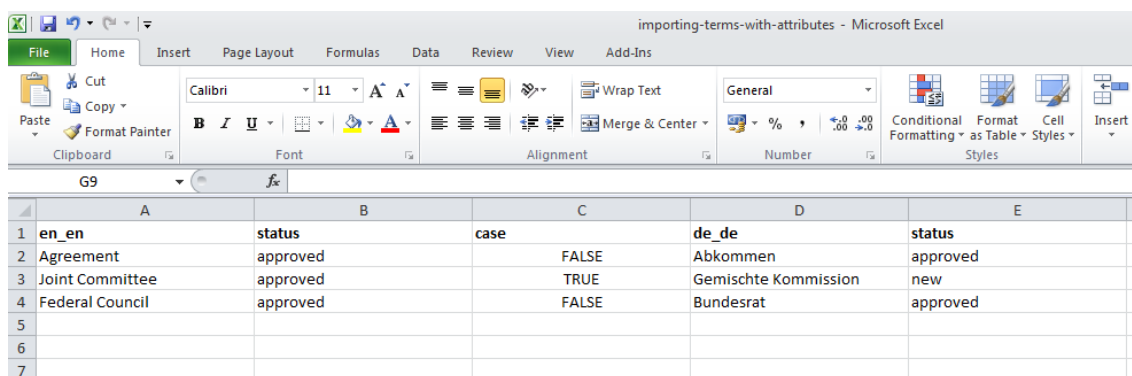
最後にインポートしたファイル

用語と属性の新規追加

用語に加え、以下の属性もエクセル形式でインポートできます:

- ステータス（新規作成、承認済み）
- 禁止（True または False）
- 大文字小文字の区別（True または False）
- マッチタイプ（完全一致、あいまい一致）
- 備考
- 使用例

用語集以外の他の属性（例：「備考」など）も、用語の右横に列を追加する形で用語追加時に併せて登録することが可能です。



	A	B	C	D	E
1	en_en	status	case	de_de	status
2	Agreement	approved	FALSE	Abkommen	approved
3	Joint Committee	approved	TRUE	Gemischte Kommission	new
4	Federal Council	approved	FALSE	Bundesrat	approved
5					
6					
7					

ヒント：1 行目の列名が不明な場合、必要な属性を選択した上で用語ベースをエクスポートしたエクセルファイルで確認できます。

「上書き」モード

既存の用語ベースに用語を新規追加する代わりに、既存の用語を修正（更新または削除）したい時にはこちらのモードを使用します。「上書き」モードを実行するには以下の手順に従います。

1. **Memsources** から修正したい属性を選択した上で、エクセルファイルをエクスポートします。デフォルトでは「ステータス」のみですが、必要があればチェックを **ON** にします。

TBX/XLSXファイルをエクスポート ✕

ファイル形式 XLSX ▼

エクスポート

- ☒ コンセプトID
- ☒ 用語ID
- ☒ 用語
- ☒ ステータス
- ☐ 禁止
- ☐ 大文字小文字の区別
- ☐ マッチタイプ
- ☐ 備考
- ☐ 使用例
- ☐ 作成者
- ☐ 作成組織
- ☐ 最終更新者
- ☐ 最終更新日時

エクスポート

2. エクスポートしたファイルを編集して、修正項目を加えます。

ヒント：エクスポートしたエクセルファイル上で緑色になっている箇所は **KEY** 情報です。"delete"オプションを追加する以外は変更しないようにして下さい。

以下は、不要な用語の削除と、既存の用語の更新を行うエクセルファイルの例です。2 行目は新しい用語で更新され、3 行目は行ごと削除されます。

	A	B	C	D	E	F	G
1	CID	TID	ja	status	TID	en	status
2	khSesHkDMCA2dU4cigwKvSvj	ujktPx171	車両	Approved	kfLHC0010wEBg8122d600ODel	vechicle	Approved
3	uodnnMH30Yd5cs8EuG1KHpAl1 delete	74s1aSfX	車	Approved	vnaoRVSo0mD5SF9EKSw4wpgNauto		Approved

3. エクセルファイルの編集が完了したら、ファイルを保存します。上書きモードでファイルをインポートするには「既存の用語を上書き」オプションを選択します。

TBX/XLSXファイルをインポート ✕

ファイル ファイルを選択 TB更新日本...6.xlsx

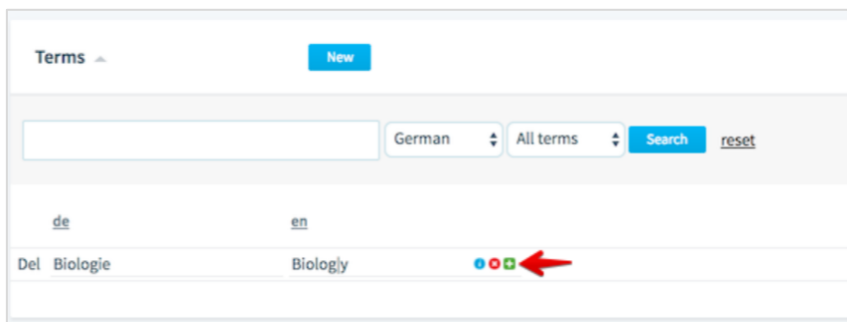
オプション

- ☐ 既存の用語に追加
- ☒ 既存の用語を上書き
- ☐ ロケールのマッチングをする

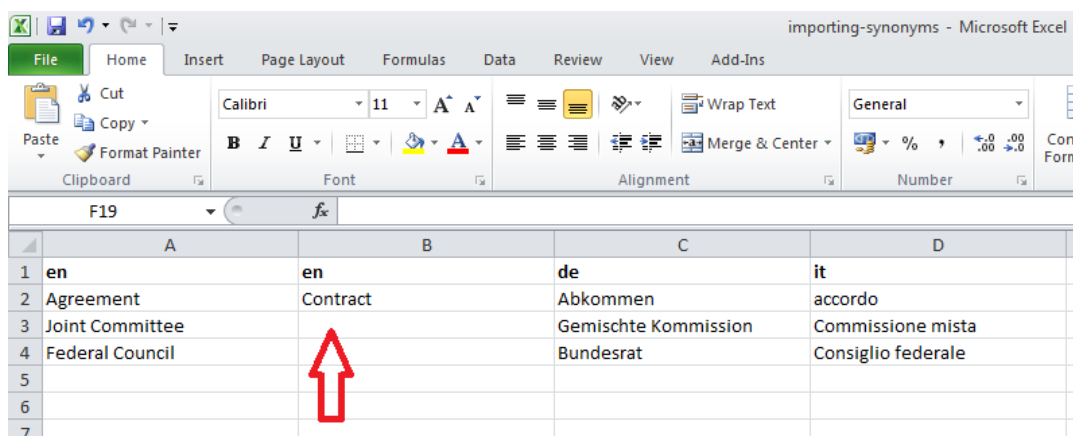
インポート

Synonyms（同義語）の登録方法

Memsources クラウド上で登録する場合、用語の右横に表示される緑色の(+)ボタンから追加します。



エクセルインポートの場合、**Synonyms** として登録したい用語のために 1 列追加しておく必要があります。



プロジェクト設定

プロジェクトに翻訳メモリと用語集を設定します。既存のプロジェクト、翻訳メモリ、用語集があることを前提にしています。まだ作成していない場合、「[プロジェクト作成](#)」、「[翻訳メモリ作成](#)」、「[用語ベース作成](#)」を参考にして作成してください。

翻訳メモリ設定

1. プロジェクト一覧ページから、翻訳メモリを設定したいプロジェクトを選択します。



2. 翻訳メモリの「選択」を押下します。

翻訳メモリ

選択

新規作成

3. プロジェクトにワークフローステップの設定がある場合以下のような画面が表示されます。ここでは何も変更せず、「続ける」を押下します。

翻訳メモリを選択してください。

全てのワークフローステップ ☒

続ける

4. 翻訳メモリの一覧が表示されます。検索または更新の列にチェックを入れて選択し、「保存」を押下します。

翻訳メモリの訳文言語全てを選択してください。

プロジェクト 日本語⇒英語サンプルプロジェクト

関連あり

20項目の内20項目を表示。さらに表示するにはフィルタをご使用ください

#

名称

クライアント

ドメイン

サブドメイン

フィルター

#	名称	検索	更新	原文言語	訳文言語	クライアント
2	上書き可	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	JA ^{JP}	EN ^{US}	ABC会社
4	多言語エクセル	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	EN ^{US}	JA ^{JP} KO ZH ^{CN}	ABC会社
31	日本語⇒英語プロジェクト	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	JA	EN	ABC会社
1	管理用メモリ	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	JA ^{JP}	EN ^{US}	ABC会社

ヒント：1 プロジェクトにつき、最低1つの翻訳メモリが「更新」用を選択されている必要があります。1 プロジェクトには、最大で10の翻訳メモリを設定できます。

注) 上書きされたくない翻訳メモリは、更新用に設定しないようにします。

ヒント：ペナルティ(%)に指定した数値のみ一致率が低くなります。同じような内容の翻訳メモリがある場合には、優先したくない翻訳メモリにペナルティを設定します。

ワークフローステップ別の翻訳メモリ設定

ワークフローステップ毎に、別々の翻訳メモリ設定を行うことができます。これを行うには、

「選択」ボタンの押下時に表示される以下のポップアップ画面のチェックを外します。

この際、どのステップに対する設定なのかは、JOB の右側に表示されています。

例えば、上記は、今「校正」ステップにいるという意味なので、このページの下にある翻訳メモリの「選択」から、「全てのワークフローステップ」のチェックを外した場合、「校正」ステップに対する翻訳メモリの設定を行っていることになります。

注) ワークフローステップごとの設定は翻訳メモリのみ対応しています。用語ベースについては1プロジェクトにつき1種類の設定になります。

用語ベース設定

1. プロジェクト一覧ページから、用語ベースを設定したいプロジェクトを選択します。

2. 用語ベースの「選択」を押下します。

3. 用語ベースの一覧が表示されます。検索、更新または QA の列にチェックを入れて選択し、「保存」を押下します。

用語ベースの訳文言語を選択してください：英語 (en)

プロジェクト [日本語⇒英語サンプルプロジェクト](#)

関連あり
8項目の内8項目を表示。さらに表示するにはフィルタをご使用ください

#	名称	クライアント	ドメイン	サブドメイン	フィルター		
#	名称	検索	更新	QA	言語	クライアント	ドメイン
1	デモ用	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	EN ^{US} JA ^{JP}	ABC会社	デモ用
2	多言語エクセル	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	EN ^{US} JA ^{JP} KO ZH ^{CN}	ABC会社	デモ用
12	日本語⇒英語プロジェクト	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	EN JA	ABC会社	デモ用
8	EnToJa	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	EN JA		

ヒント: 1 プロジェクトにつき、1 つの用語ベースが「更新」用に選択されている必要があります。1 プロジェクトには、最大で 10 の用語ベースを設定できます。

注) 上書きされたくない用語ベースは、更新用に設定しないようにします。

ヒント: QA にチェックを入れた用語ベースにある用語を使用していない場合、翻訳後の QA 実行時にエラーとして検出されます。

解析

解析機能を使用して、選択したファイルの文字/ワード数、繰り返しの数、翻訳不可能箇所 (NT)、翻訳メモリとの一致率、機械翻訳との一致率 ([ポストエディティング解析](#)) または改訂者による改訂 ([比較解析](#)) の計算ができます。

解析は翻訳者にアサインでき、翻訳者ポータル (翻訳者ユーザーがクラウドにログインした時の画面) に表示されます。

翻訳費の課金単位は国により異なるため、Memsource は各解析に以下を提供しています：

- 文字数 (スペースなし)
- ワード数 (単語の間にスペースを使用する言語のみ対象、中国語・日本語・タイ語は除く)
- ページ数 (スペースも含めた 1800 文字、実際のファイルのページ数は考慮しない)

以下の解析タイプがサポートされています：

通常（デフォルト解析）

解析

種類 通常

名称 ポストエディティング 比較

☒ 内訳

☐ 翻訳不要箇所を含む

☐ 確定済みのセグメントを除外

☐ ロックされたセグメントを除外

☐ 数字を除外

☐ リングスト毎に分析

☐ 言語毎に分析

解析対象:

☒ 原文

☐ 訳文

解析

翻訳作業前に実施されるべき既定の解析です。セグメント、ワード、文字カウントの詳細を提供し、翻訳メモリとの一致率、翻訳不可能箇所を表示し、顧客に対する見積もりの元データとなります。

注) 翻訳完了後にこの解析を実施する場合には、更新用に設定した翻訳メモリを外してから行ってください。

解析オプション

- 内部ファジーを含む（対象ファイル内の類似セグメントを一致とみなす）
- 翻訳不要箇所を含む
- 確定済みのセグメントを除外
- ロックされたセグメントを除外
- 数字を除外
- リングスト毎に分析（複数ファイルが選択された場合、アサインされたリングストごとにグループ化して分析され、解析結果は担当者に参照可能となる）
- 言語毎に分析（複数ファイルが選択された場合、言語の組合せごとにグループ化して分析される）

ポストエディティング

機械翻訳と翻訳不可能箇所ポストエディティング（機械翻訳と翻訳不可能箇所のアウトプットの改善に必要とされる編集の工数）を解析します。

継続して更新される翻訳メモリをリアルタイムに活用して翻訳メモリを解析します。プロジェクトに複数の翻訳者が同時に携わっている場合に便利です（どの翻訳者が最も TM に貢献しており、どの翻訳者がほとんどそれを使用していないのかを判断可能）。

ユーザーはセットアップメニュー経由で設定しておくか、実際に「**解析**」を選択した時の画面で、必要な解析のタイプを変更できます。

ヒント：この解析は翻訳完了後に実施されるべきです。

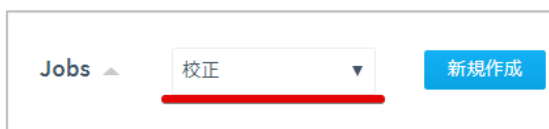
比較

チーム版以上のエディション、かつワークフローステップが有効になったプロジェクトでのみ有効です。異なるワークフローステップにある 2 つのバージョンを比較して、どの程度改訂がなされたのかを解析します。例えば、翻訳ステップと校閲ステップを比較すると、校閲の実際の工数（校閲ステップでどの程度翻訳が変更されたか）が分かります。

解析の実行

このセクションでは、「通常」タイプの解析を実行します。

1. 解析を実行したいジョブがあるプロジェクト編集画面に移動します。
2. 複数のワークフローがある場合、解析を実行したいステップが表示されているかを確認します。



3. 対象のファイル名にチェックを入れ、「解析」を押下します。



4. 必要があれば[解析オプション](#)を変更後、「解析」ボタンを押下します。
5. 解析結果は、同じページの「解析」セクションに表示されます。解析ファイル名をクリックします。

解析 ▲				
編集 削除 ダウンロード				
<input type="checkbox"/>	#	名称	リングスト(翻訳者)	種類
<input type="checkbox"/>	3	解析 #3	translator sample2	通常
<input type="checkbox"/>	2	解析 #2	translator sample	通常
<input type="checkbox"/>	1	解析 #1		通常

6. 解析結果が別 Window で表示されます。

一致率の定義」を参照します。
 ヒント：解析結果を画面右端に表示されるボタンから CSV 形式でダウンロードすることができます。ダウンロードした CSV ファイルがエクセルで上手く開けない場合は、以下の手順に従って下さい。
 </div>
 <div data-bbox="138 822 644 882" data-label="List-Group">

 1) CSV をエクセルで開き、A 列（列全体）を選択します。
 2) データ>区切り位置をクリックします。
 3) ウィザードが表示されますので、「次へ」をクリックします。

 </div>
 <div data-bbox="831 917 862 935" data-label="Page-Footer">
 27
 </div>

- 4) 2 つ目のウィザードで区切り文字に「セミコロン」をチェックした後、「完了」をクリックすると「;」で区切った表示になります。

区切り位置指定ウィザード - 2 / 3

フィールドの区切り文字を指定してください。[データのプレビュー] ボックスには区切り位置が表示されます。

区切り文字

☒ タブ(I)

☒ セミコロン(M)

☐ カンマ(C)

☐ スペース(S)

☐ その他(Q):

☐ 連続した区切り文字は 1 文字として扱う(R)

文字列の引用符(Q): "

データのプレビュー(P)

File	Tagging Errors	Chars/Word	Context TM Segments	Words	Placeables
MS_Sample.docx ja_jp_jp>en_us	0	4.62	66	515	0

キャンセル < 戻る(B) 次へ(N) > 完了(E)

一致率の定義

翻訳メモリとの一致率は以下の定義に従って計算されています：

- **繰り返し** - 1 つのジョブの中での繰り返しのセグメント数
- **101%** - コンテキスト（前後のセグメント）も含む、翻訳メモリに対する完全一致
- **100%** - 翻訳メモリに対して完全一致
- **95%-99%** - 翻訳メモリに対する一致率 95%-99%
- **85%-94%** - 翻訳メモリに対する一致率 85%-94%
- **75%-84%** - 翻訳メモリに対する一致率 75%-84%
- **50%-74%** - 翻訳メモリに対する一致率 50%-74%
- **0%-49%** - 翻訳メモリに対する一致率 0%-49%

注）上記のルールに加え、「繰り返し」に関する例外ルールがあります。「繰り返し」は、基本、翻訳メモリに対する一致率とは別にカウントされますが、例外的に一致率が **101%**と **100%**のセグメントは、繰り返しから除外され、**101%**、**100%**にのみカウントされます。

一括翻訳

翻訳作業の依頼前に、ジョブに対して各種の一括処理を行うことができます。「一括翻訳」

は、以下のサブメニューを含みます：

- 空欄セグメントのみ一括翻訳（「[空欄セグメントのみ一括翻訳](#)」参照）
- 空欄を人間翻訳する（Gengo のサービスに翻訳を依頼します（有償））
- 空欄セグメントに原文をコピー（空欄の訳文セグメントに原文のセグメントをコピーします）
- 空欄セグメントを疑似翻訳（「[疑似翻訳](#)」参照）
- 全ての訳文を削除（選択したファイルを対象に全ての訳文セグメントを削除します。）

注）この操作はキャンセルできません

空欄セグメントのみ一括翻訳

「空欄セグメントのみ一括翻訳」は **Memsources** クラウド内で 3 箇所に設定があります：

1. 管理者または制限のない PM により設定されたセットアップメニューの設定。全ての新しいプロジェクトはこの設定がデフォルトです。（チーム版以上は疑似翻訳を含む）
2. プロジェクト設定
3. プロジェクト編集画面でジョブを選択して「一括翻訳」を押下時の画面

一括翻訳オプション

一括翻訳

翻訳メモリ

☒ 翻訳メモリを使って一括翻訳

一括翻訳のしきい値 %

機械翻訳

☒ 機械翻訳を使って一括翻訳

翻訳不要箇所

☒ 翻訳不要箇所を一括翻訳

☒ Memsources Editorで翻訳不要箇所を表示

セグメントステータスを確定済みに設定

☐ 100% 翻訳不要箇所マッチ

☐ 100% 翻訳メモリマッチ

☐ 101% 翻訳メモリマッチ

一括翻訳・ジョブを完了に設定

☐ ジョブ作成時に一括翻訳

☐ 一括翻訳終了後、ジョブを完了に設定

☐ すべてのジョブの一括翻訳終了後、プロジェクトを完了に設定

ロック

☐ 100% 翻訳不要箇所マッチ

☐ 100% 翻訳メモリマッチ

☐ 101% 翻訳メモリマッチ

翻訳メモリを使って一括翻訳	訳文が空欄のセグメントに翻訳メモリと一致した訳文を挿入します。 一括翻訳のしきい値 に、挿入されるための最低限の一致率を指定します。
機械翻訳を使って一括翻訳	翻訳メモリに一致したものがない場合、機械翻訳エンジンから取得した訳文を挿入します。 Microsoft Feedback 、一部の機械翻訳エンジンにはこのオプションは使用できません。
翻訳不要箇所を一括翻訳	翻訳不要箇所（文字ではないテキストで構成）の訳文セグメントに原文をコピーします。
セグメントステータスを確定済に設定	<p>チェックを入れたものを対象に「確定済」に設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 100% 翻訳不要箇所マッチ 100% 翻訳メモリマッチ 101% 翻訳メモリマッチ
一括翻訳・ジョブを完了に設定	<p>機械翻訳のみ対象。オートメーションウィジェットで作成されたプロジェクトに使用できます。クライアントが送信したファイルは自動的に機械翻訳（有効にされている場合は NT の結果も含む）され、クライアントに返信されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ジョブ作成時に一括翻訳セットアップメニューまたはプロジェクト設定のみで有効なオプションです。 一括翻訳終了後、ジョブを完了に設定 すべてのジョブの一括翻訳終了後、プロジェクトを完了に設定
ロック	<p>チェックを入れたものを対象にロックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 100% 翻訳不要箇所マッチ 100% 翻訳メモリマッチ 101% 翻訳メモリマッチ

一括翻訳のベストプラクティス

一括翻訳を翻訳前に常に実行する必要はなく、推奨できない場合もあります。通常、エディタは、より効率的な方法で一括翻訳をサポートしています。

一括翻訳の実行

一括翻訳を実行するには次の手順に従います。

1. 実行したいジョブがあるプロジェクト編集画面に移動します。対象のファイル名にチェックを入れ、「一括翻訳」→「空欄セグメントのみ一括翻訳」を押下します。



2. 「一括翻訳」のオプション設定画面上で設定を確認し、「一括翻訳」を押下します。

疑似翻訳 (Pseudo)

疑似翻訳機能を使用して、Memsource に原文ファイルが正しく読み込まれ、エディタで翻訳作業を実施したファイルが想定した通りのフォーマットで訳文ファイルとしてダウンロード可能であることをシミュレーションできます。

注) 本機能はチーム版以上のみで利用可能です。

疑似翻訳オプション

以下のオプションを使用して疑似翻訳を実行できます：

- **疑似翻訳に使用する文字：** 選択された文字が原文に追加されます。設定値が '\$' の場合、'Test' は 'T\$e\$s\$t\$' です。
- **ソーステキストとあわせる：**
- **セグメントの始まりの文字：** 設定値が 'aaa' の場合、'Test' は 'aaaT\$e\$s\$t\$' です。
- **セグメントの終わりの文字：** 設定値が 'bbb' の場合、'Test' は 'T\$e\$s\$t\$bbb' です。
- **原文に対する訳文の長さ：** 疑似翻訳を含めた訳文の長さ(%)。設定値が 100 の場合、'Test' は 'T\$e\$'。ただし始まりの文字と終わりの文字は除外されます ('aaaT\$e\$bbb')。

疑似翻訳の実行

疑似翻訳を実行するには次の手順に従います。

1. 実行したいジョブがあるプロジェクト編集画面に移動します。対象のファイル名にチェックを入れ、「一括翻訳」→「空欄セグメントのみ疑似翻訳」を押下します。



2. 「疑似翻訳」のオプション設定画面上で設定を確認し、「疑似翻訳」を押下します。
 ヒント：各種オプションについては「[疑似翻訳オプション](#)」を参照ください。

疑似翻訳

疑似翻訳に使用する文字

\$

ソーステキストとあわせる

☒

セグメントの始まりの文字

aaa

セグメントの終わりの文字

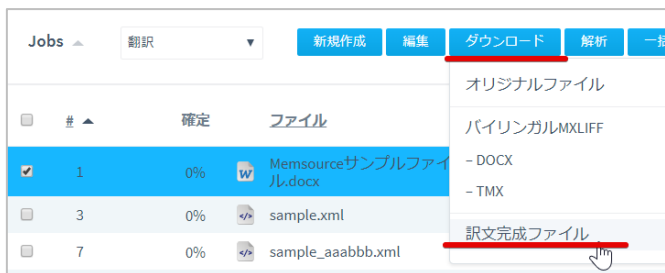
bbb

原文に対する訳文の長さ

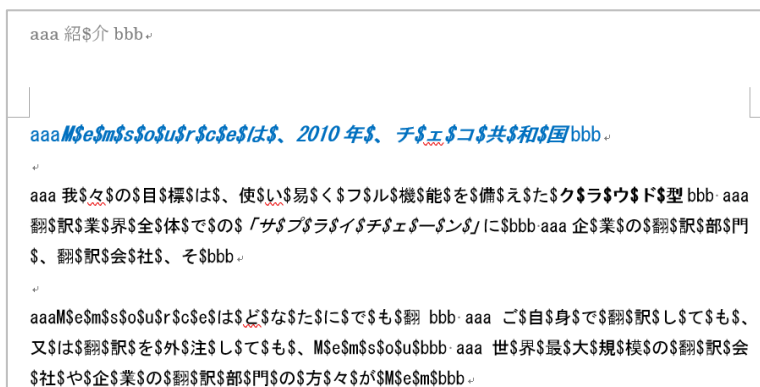
100

疑似翻訳

3. 疑似翻訳が完了したら、「ダウンロード」→「訳文完成ファイル」から、訳文完成ファイルをダウンロードします。



4. 翻訳対象箇所のみが、疑似翻訳されていることを確認します。
 ヒント：画像や埋め込み部分など翻訳対象外の箇所は、原文ファイルと全く同じになります。



5. 訳文ファイルに問題なければ、翻訳作業を開始するため、「一括翻訳」→「全ての訳文を削除」を実施して疑似翻訳を削除します。

ロックとロック解除

ロックしたセグメントは翻訳対象外となり、翻訳者は編集できません。ロックおよびロックの解除の設定は翻訳者が実施することはできません。

注) ロックとロック解除は翻訳作業の実施前に実行してください。

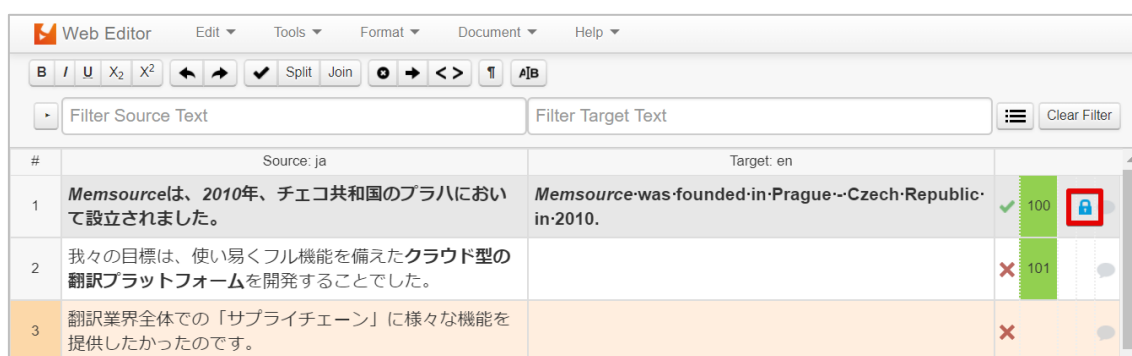
対象セグメントをロックまたはロック解除するには以下の手順に従います：

1. ファイル名をクリックすると別タブで Web エディタが開きます。

ヒント：デスクトップエディタも利用できます。詳細は、「Memsources 基本操作マニュアル～Editor 編～」を参照します。



2. ロックしたいセグメントを選択し、Ctrl + L と入力します。ロックされたセグメントはグレースアウトされ、鍵アイコンが表示されます。



ヒント：既にロックされているセグメントを選択し、Ctrl + L と入力するとロックが解除されます。

ファイル分割

この機能は、単一ファイルが複数の翻訳者により作業される必要がある場合に便利です。各翻訳者は翻訳のための仮想的なファイルを取得することになります。ファイル分割は訳文

ファイルに影響を与えません。全てのワークフローステップに対してファイル分割機能を使用できます。（このオプションは既にファイルが分割されている場合は有効ではありません。）

注）ファイル分割は、翻訳者のアサイン前に実行してください。

ファイル分割オプション

分割には 4 つのオプションがあります：

- 分ける数を指定して分割
- セグメント数を指定して分割
- 特定のセグメント*後で分割
- ワード数を指定して分割

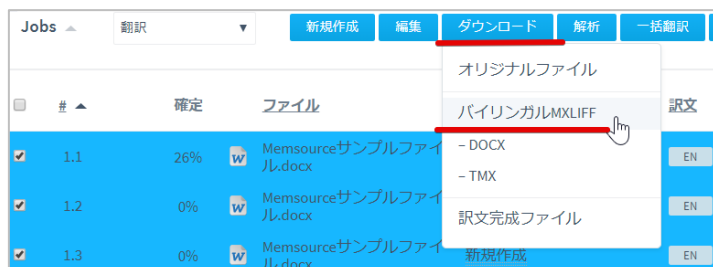
*Web エディタを起動し、「特定のセグメント」を確認します。

分割したファイルをエディタ上で結合して表示したい場合、結合ファイルを使用します。

結合ファイルの使用方法

デスクトップエディタの場合：

対象ファイルにチェックを入れ、「ダウンロード」→「バイリンガル MXLIFF」を選択します。



「結合ファイル」を選択し、「ダウンロード」をクリックします。



Web エディタの場合：結合対象のファイルにチェックを入れ、そのうち 1 つをクリックします。

ファイルの結合を実施した場合、ジョブの各名称は以下の様に表示されます。

#	Source: ja	Target: en		
JOB # 1.1 Memsourcesampleファイル.docx				
1	Memsourcesは、2010年、チェコ共和国のプラハにおいて設立されました。	Memsources-was-founded-in-Prague--Czech-Republic-in-2010.	✓ 100	🔒
2	我々の目標は、使い易くフル機能を備えたクラウド型の翻訳プラットフォームを開発することでした。		✗ 101	🔒
3	翻訳業界全体での「サプライチェーン」に様々な機能を提供しなかったのです。		✗	🔒
4	企業の翻訳部門、翻訳会社、そして翻訳者に対してです。		✗	🔒
JOB # 1.2 Memsourcesampleファイル.docx				
5	Memsourcesはどなたにでも翻訳ソリューションを提供できます。		✗	🔒
6	ご自身で翻訳しても、又は翻訳を外注しても、Memsourcesを使えば翻訳プロセスはより効率的になります。		✗	🔒
7	世界最大規模の翻訳会社や企業の翻訳部門の方々がMemsourcesを利用し翻訳の生産性を最適化しています。		✗	🔒
8	1 Memsourcesウェブエディタ 1は、完全にウェブ型の翻訳環境です。		✗	🔒
JOB # 1.3 Memsourcesampleファイル.docx				
9	ウェブ型に代わるデスクトップ型のMemsources-Editorは、2 無料でダウンロード可能 2です。		✗	🔒

ファイル分割の実行

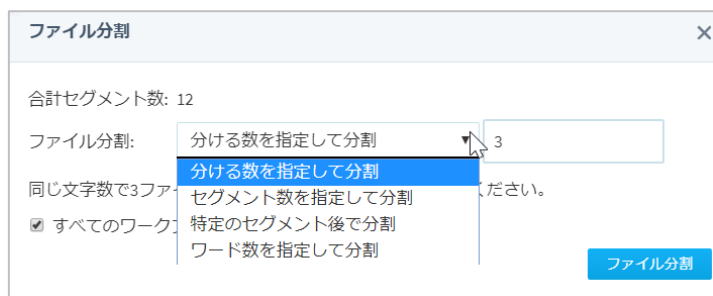
ファイルを分割するには以下の手順に従います。

1. 分割対象のファイル (1 ファイルのみ) にチェックを入れ、「ツール」→「ファイル分割」をクリックします。



2. [分割オプション](#)を選択し、「ファイル分割」をクリックします。

注) この操作はキャンセルできません。オプションに間違いがないか実行前に確認します。



3. 分割後、[疑似翻訳を実行](#)し、訳文完成ファイルに問題がないことを確認します。

4. 分割後のファイルを翻訳者にアサインします。

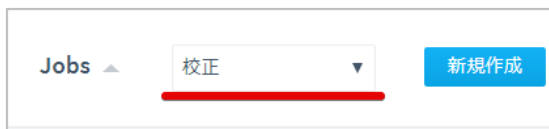
ヒント：複数ファイルを対象にして同じ翻訳者にアサインできます。

5. 翻訳完了後、分割した複数のファイル名を選択し、「ダウンロード」→「訳文完成ファイル」をクリックします。

翻訳者へメール送信

ジョブに翻訳者をアサインし、案件打診メールを送信します。ファイルのアップロード時にメール送信済みの場合、ご自身で翻訳を進められる場合は、この操作は不要です。

1. 複数のワークフローがある場合、メール送信を実行したいステップが表示されているかを確認します。



2. 対象のファイル名にチェックを入れ、「編集」を押下します。



3. 翻訳者、納期を選択したら「保存」ボタンを押下します。



4. 保存が完了するとプロジェクト編集画面に戻るので、「ツール」→「Eメール」をクリックします。



5. テンプレートを選択し、「Eメール」を押下します。

✕

ユーザーテンプレート:

新規案件(en) ▼

宛先:

Cc:

Bcc:

件名:

新規案件

メール本文:

{linguist.firstName}様

新規案件のご依頼です。

{jobInfo}

ファイル: {job.name}

言語: {job.sourceLang} → {job.targetLang}

納期: {job.dateDue}

{jobInfo}

作業を開始するにはMemsources Cloudにサインインしてください。

{project.url}

選択したファイルをアサインされたリンギストに送信する

メールを送信

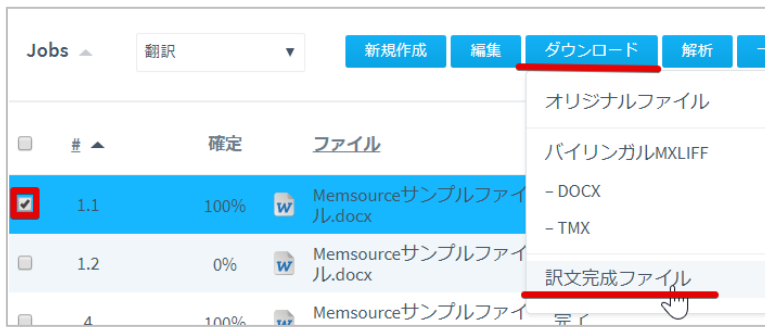
6. 翻訳者は、受信メール内のリンクから該当プロジェクトにアクセス可能です。
- ヒント：セットアップメニューから、[メールテンプレートの編集・追加](#)が可能です。
- ヒント：翻訳者のパスワードリセット方法については、「[ログイン情報をメールする](#)」を参照します。

翻訳作業の確認

翻訳者から作業完了の通知を受けた **PM** は、作業に問題がないかを確認し、最終納品物を作成します。

訳文完成ファイルダウンロード

訳文完成ファイル（元原稿と同じフォーマットで訳文に差替えられたもの）をダウンロードするには、対象ジョブを選択し、「ダウンロード」→「訳文完成ファイル」を実行します。



ヒント：実行時エラーの原因については、表示されるメッセージを確認します。よくあるエラーの原因として、Excel ファイルの制限違反（例：シート名の翻訳に「/」などの禁止文字が含まれている）や、訳文と原文でタグの数や順序が一致しないことなどがあります。

ヒント：元原稿によっては、訳文完成ファイル上でのレイアウト調整などが必要な場合があります。

変更履歴をエクスポート

プロジェクトにワークフローステップが設定されている場合、各ステップの変更履歴を一覧表示し、ファイルにエクスポートすることができます。

対象ジョブを選択し、「ツール」→「ワークフローの変更履歴をエクスポート」で変更履歴を表示し、HTML 形式でファイルに保存します。



ヒント：エクスポートファイルは HTML 形式のみがサポート対象です。

高度なプロジェクト設定

プロジェクト・ジョブ共有機能

有料の Memsource ユーザー同士であれば、別の組織に属していても、プロジェクト共有機能を利用して共同して作業を行うことができます。バイヤー（依頼側）はチーム版以上、ベンダー（受注側・実際に翻訳を行う側）はチーム・スタート版以上です。

プロジェクト共有

プロジェクト共有を行うには、以下の手順に従います。

1. バイヤーは、ベンダーに、ベンダートークン番号の連携を依頼します。ベンダートークン番号は、セットアップメニュー画面の上部、組織の下に表示されています。

セットアップ

ツール

[ごみ箱](#)
[アーカイブ済みプロジェクト](#)
[ジョブボード \(ベータ版\)](#)

組織

名称:

ベンダートークン: 60563-Jd5Ji-Kvm9B

[ロゴと配色をカスタマイズ](#)

[編集](#)

2. バイヤーは、ベンダートークン番号を使用してベンダー登録を行います。「セットアップメニュー」>「管理」>「ベンダー」で「新規作成」をクリックし、ベンダートークンを入力します。

ヒント：ベンダートークン以外の情報は空白のままでも大丈夫です。

ベンダー

新規作成

削除

名称	アクティブ
----	-------

ベンダーの新規作成

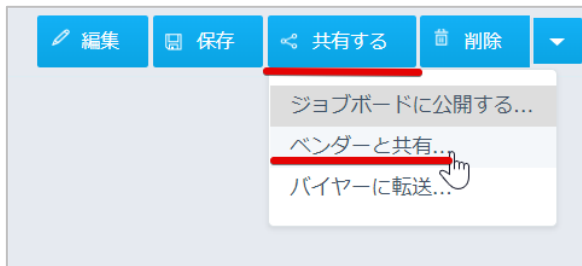
ベンダートークン

名称

課金率ルール

価格表

3. ベンダーと共有したいプロジェクトに移動し、右上の「共有する」→「ベンダーと共有」をクリックします。



ヒント：ベンダーからプロジェクトを共有するには、「バイヤーに転送」を選択します。

4. 共有先のベンダーを選択する画面で、ベンダーを選択し、「保存」をクリックします。

ヒント：共有済みのプロジェクトを選択している場合、ここで空白を選択して保存すると共有が停止されます。プロジェクト共有の停止はバイヤー側が実施します。

5. 共有されたプロジェクトは左上のアイコンの表示が以下のようになります。



ヒント：プロジェクトを共有していても、お互いの翻訳者名は相手に見えません。相手側の翻訳者が紐づけられている場合、以下のように表示されます。

また、一括で相手の翻訳メモリ・用語集をダウンロードすることはできません。

Jobs						
翻訳 (バイヤー)						
新規作成 編集 ダウンロード 解除 一括翻訳 ツール 削除						
#	確定	ファイル	ステータス	訳文	リンギスト(翻訳者)	納期
		Memsourceサンプル	*			OK
4	0%	Memsourceサンプルファイル.docx	承諾	JA	Memsource アサイン済み	

更新用翻訳メモリ・用語集は、バイヤー側も、ベンダー側も、設定することができます。今回のプロジェクト内で蓄積される翻訳メモリ・用語集は、両者が所有することができます。

ジョブ共有

ジョブ単位で共有する場合は、翻訳者をジョブにアサインする方法と同じです。ひとつのプロジェクトを複数のベンダー・翻訳者に割り当てる場合、こちらをご利用ください。

リングリストとして、ベンダーを選択し、納期を設定したら「保存」をクリックします。

ジョブを編集	
リングリスト(翻訳者)	<input type="text" value="translator demo"/>
ステータス	<input type="text" value="新規作成"/>
納期	<input type="text" value="2017-09-05 08:00"/>

ヒント：ベンダーは、割り当てられたジョブ以外見ることはできません。その他の点は、プロジェクト共有と同様です。ベンダー側で翻訳メモリ・用語集を設定できます。またベンダー側の翻訳者に依頼できます。

プロジェクトの自動作成

[オンラインストレージサービスと連携](#)させると、**Memsorce** が指定したフォルダを定期的に確認し、新しいファイルがあれば自動でプロジェクトを作成する「プロジェクトの自動作成」機能をご利用頂けます。対象エディションはチーム版以上となります。

プロジェクトの自動作成機能を使用するには、**Memsorce** 上に [コネクター](#) と [サービス](#) が最低 1 つ設定されている必要があります。

プロジェクトの自動作成機能を設定するには以下の手順に従います。

1. セットアップメニューから、「サーバー設定」の下の「プロジェクトの自動作成」を選択し、「新規作成」をクリックします。
2. 任意の名称と原文・訳文言語を入力し、「接続先のフォルダ」から連携しているオンラインストレージサービスを選び、ジョブを検出する対象フォルダを選択します。
3. 「アップロード用サブフォルダ」に任意の名称を入力します。こちらは上記で選択したフォルダの中に自動的に作成され、**Memsorce** で処理中のファイルが保存されます。これにより自動で処理が進んでも原文ファイルと混同することがありません。このオプションが無効で、プロジェクト設定で「ファイル名の変更」が設定されていない場合、元のファイルが訳文ファイルで上書きされる可能性があるので注意して下さい。
4. 「保存先サブフォルダのパス」フィールドに、保存先サブフォルダの名称を指定します。この項目はコネクターが以下のいずれかの場合のみ表示されます。FTP, SFTP,

Dropbox, Google Drive, Box, OneDrive, Git, GitHub, GitLab, Bitbucket

- 「確認頻度」で新規ファイルの有無を確認する頻度を設定します。
- サービスを選択し、必要に応じプロジェクトテンプレートの設定、デフォルトのプロジェクトタイトルの変更、電子メールテンプレートの設定を行います。

ヒント：デフォルトのプロジェクトタイトルに使用可能なマクロは以下を参照します。

https://wiki.memsource.com/wiki/Template_macros

プロジェクトの自動作成を新規に設定

名称

アクティブ ☒

原文言語

訳文言語

中国語 (台湾)	▲	日本語	▲
中国語 (中国)			
日本語 (日本、JP)	▼		▼
日本語 (日本)			

接続先のフォルダー [接続先のフォルダーを選択](#)

ファイルを指定(任意)

名称	容量	最終更新
0つのファイルが選択されました		

作業後のファイルを指定のフォルダに移動 ☒

アップロード用サブフォルダ

保存先サブフォルダのパス

確認頻度

☐ 日 1 毎月の 00:00

☐ 毎 日 開始時刻: 00:00

☐ 毎 1 時間

☒ 毎 5 分

サービス

デフォルトのプロジェクト名

- 設定を保存すると、有効になっているプロジェクトの自動作成ルールが確認できます。ステータスは接続の状況、最後の確認と次の確認はそれぞれフォルダを最後に確認した時間と次に確認する時間を示します。

プロジェクトの自動作成				
		新規作成	削除	
名	姓	タイプ	ステータス 最後の確認	次の確認
<input checked="" type="checkbox"/>	Google Drive	Google Drive	✓ 2018-04-05 05:26	2018-04-05 05:31

- プロジェクトのステータスが「完了」に変更されると、翻訳済みファイルが上記で設定したサブフォルダに保存されます。プロジェクトテンプレートの解析の設定や電子メ

ールテンプレートの設定と組み合わせることにより、解析、仮翻訳、翻訳者へのアサイン、メール通知などの多くの工程を自動化できます。

お支払いに関する FAQ

Q. 無料トライアルはどこから申し込めますか？

すべての有料エディションは 30 日間無料でお試し頂けます。
以下のサイトにある無料トライアルボタンをクリックします。

<https://www.memsource.com/ja-pricing>

30日間の無料トライアル

必要情報を入力し、「サインアップ」を押下します。ユーザー名については本書の「[ユーザーアカウント作成](#)」を参照します。

MEMSOURCE

サインアップ

エディション **Team**
言語 Japanese (Community Translation)

Email test@memsource.com

ユーザー名 new_memsource_trial

新規パスワード *****

パスワード再入力 *****

良好

8文字以上のパスワードを設定してください。

☒ Memsource サービス規約を読み、同意します。

サインアップ

Q. もうすぐ無料トライアルが終了します。期間を過ぎるとどうなりますか？

無料トライアルの期間が過ぎるとご購入頂くまでログインできなくなります。購入方法については、「[購入方法についての FAQ](#)」をご覧ください。

Q. 購入したいのですが、どうすればいいですか？（購入方法について）

ログイン後、画面上部にでてくる緑色の「登録はこちら」ボタンを押します。

アカウントの有効期限は残り244日間です。

登録はこちら

?

⚙

 MS_JAPAN_DEMO

さらに「登録はこちら」と進み、該当のエディションの「購入」ボタンから購入に進んでください。（※以下は Team 版の例）

あなたの現在のエディション
395日のトライアル
残り日数 244日

Team Start € 20 プロジェクトマネージャー1 アカウント+2 リンギスト/ 月 翻訳メモリ 機械翻訳 用語管理 カスタムロゴ テクニカルサポート 購入	Team € 150 プロジェクトマネージャー1 アカウント+10 リンギスト/ 月 ワークフロー プロジェクトの自動化 プロジェクトの共有 オートメーションウィジェット FTP、Box、Dropboxなどとのコネ クタ 購入	Ultimate € 250 プロジェクトマネージャー1 アカウント+10 リンギスト/ 月 各種CMSコネクタ API カスタムクラウドドメイン サブミッターユーザー 分析&財務 ご契約はプロジェクトマネージャ ーアカウント×5以上から 購入
--	--	--

Q. Memsorce への支払いはどのような方法がありますか？

Memsorce へのお支払いには 2 つの方法がございます。

クレジットカードまたは PayPal

Memsorce クラウドの右端に表示される「登録はこちら」をクリックし、クレジットカードまたは PayPal での支払を選択します。3 か月、6 か月、または 10%割引になる 1 年間の支払いが選択できます。支払と同時に、請求書が自動で送信されます。

クレジットカード支払の場合、Visa または MasterCard が選択できます。

PayPal の場合、PayPal アカウントがなくても、MasterCard、Discover、American Express が選択できます。

請求書は「セットアップメニュー>登録>詳細>請求書」からダウンロードできます。

海外送金

10%割引になる 1 年間の支払を選択した場合のみ、海外送金が選択できます。銀行口座からの海外送金でのお支払いをご希望の場合、日本窓口(japan@memsource.com)まで以下の情報を添えてご連絡ください。

- 請求先住所および VAT 番号（該当する場合）
- 請求書に記載するご担当者のお名前、ご住所、メールアドレス
- 購入 **Memsources** エディション名
- 購入ライセンス（PM）数
- ご希望のお支払い外貨（ユーロまたはアメリカドル）

銀行口座宛ての請求書（英語）をお送りしますので、そちらを元にお支払いいただけます。

なお、お振込み手数料はお客様にご負担いただいております。

Appendix

QA チェック項目一覧

既定	QA 項目名	QA 項目名 (英語)	説明
<input checked="" type="checkbox"/>	訳漏れ	Empty target	訳文欄が空欄
	末尾の句読点	Trailing punctuation	原文と訳文で句読点(ピリオド、コンマ、クエスチョンマーク)の数が異なる※日本語の句読点には対応していません。
<input checked="" type="checkbox"/>	訳ブレ	Inconsistent translations	同じ原文に対する訳が異なる、または同じ訳文に対して異なる原文
<input checked="" type="checkbox"/>	直前のワークフローに新しいバージョンあり	Newer version in a preceding workflow step available	直前のワークフローで編集された
<input checked="" type="checkbox"/>	数値の不一致	Missing numbers	原文と訳文で数値が異なる。全角対応。※漢数字・ローマ数字等は検出しません。
<input checked="" type="checkbox"/>	繰り返し	Repeated words	同じ単語が繰り返されている
<input checked="" type="checkbox"/>	連続したスペース	Multiple spaces	複数スペースがある
<input checked="" type="checkbox"/>	先頭と末尾のスペース	Leading and trailing spaces	末尾にスペースがある
<input checked="" type="checkbox"/>	タグ & 書式	Tags & formatting	原文と訳文でタグと書式が不一致
<input checked="" type="checkbox"/>	タグ内容の不一致	Inconsistent tag content	原文と訳文でタグの内容が合っていない※タグ編集は、XML, HTML , XLIFF ファイルでのみ有効です。
<input checked="" type="checkbox"/>	空タグ	Empty tag content	タグの中にコンテンツがない ※タグ編集は、XML, HTML , XLIFF ファイルでのみ有効です。
<input checked="" type="checkbox"/>	タグ - 結合されたセグメント	Tags - joined segments	文節を結合したあと、訳文の結合タグが削除されている ※結合タグが削除されること



			が原因で変換エラーが起こる場合があります。
<input checked="" type="checkbox"/>	タグ間のテキスト未挿入	No text between tags	原文ではタグの間にテキストがあるが、訳文ではない
	入れ子のタグ	Nested tags	タグが入れ子になっている
<input checked="" type="checkbox"/>	XLIFF タグ	XLIFF tags	ペアになっている XLIFF タグの順序が正しくない
<input checked="" type="checkbox"/>	用語	Terminology	用語集違反
	非承認用語を無視	Ignore not approved terms	承認されていない用語は違反していても検出しない
	原文なしの禁止用語	Forbidden terms without source	用語集で禁止されている用語が使用されている
<input checked="" type="checkbox"/>	スペルチェック	Spelling	スペルミスの可能性
<input checked="" type="checkbox"/>	未確定のセグメント	Not confirmed segments	セグメントが確定されていない
<input checked="" type="checkbox"/>	未解決のコメント	Unresolved conversations	コメントが解決されていない
	最大セグメント長（文字換算）	Max. target segment length in characters	訳文の文字数制限を行う
	最大セグメント長（原文%換算）	Max. target segment length in % of source	原文に対する訳文の長さ制限を行う
<input checked="" type="checkbox"/>	ジョブ作成中に設定された訳文の最大長	Max. target length as set during job creation	ファイルアップロード時に設定した最大値を超えている場合に検出
	次を許可しない	Not allowed	禁止用語の設定（用語集ではなく直接入力可能）
	QA チェックでロックされたセグメントを除外	Exclude locked segments from QA	ロックされたセグメントは QA チェックから除外
	リンギストが QA 警告を含むジョブのステータスを完了に変更することを許可しない	Linguists may not set jobs with QA warnings to Completed	翻訳者は QA チェック違反をすべて修正または「警告を無視」するまで、ステータスを「完了」にすることができない。 <u>翻訳者に QA 実行を必須にする場合はチェックを入れます。</u>

	訳文が原文と同一	Target text identical with source one	訳文と原文が同一
	全てのワークフローステップで無視する	Ignore in all workflow steps	「警告を無視」が他のワークフローステップでも無視されます
	TM とのあいまい一致が未編集	Fuzzy TM matches with no post-editing	あいまい一致の TM が編集されずに確定している
	訳文に数字が追加されています	Extra numbers in target	原文にあるものより多く数字が訳文に存在する
	正規表現	Regex	詳細は、「 QA チェック正規表現の設定 」をご覧ください。

QA チェック正規表現の設定

正規表現を使用し、必要なルールに基づいた QA チェックを追加できます。

例えば、数字に対して必ず漢数字が使用されなければならない場合、以下の様に設定すると、原文に数字があるのに訳文に漢数字が使用されていないケースを検出できます。

正規表現 項目	ソースの正規表現	訳文の正規表現	
漢数字の使用	[0-9]	[〇一二三四五六七八九]	 

設定した項目名が QA メッセージとして表示されます。

#	Type	Info	i
5	Regex	漢数字の使用	

ヒント:「数値の不一致」のチェックが ON の場合、正規表現の設定と矛盾するので、QA で都度検出されます。

オートメーションウィジェット

自動見積もりフォームを作成する機能です。設定した言語・価格情報に基づき、フォーム上に見積もり結果が表示されます。フォームを通じて翻訳の依頼を行うことが可能です。依頼時・完了時に Memsources システムから自動送信メールが送られます。

この機能を利用するには、[価格表](#)と[サービス](#)が設定されている必要があります。

価格表の設定

1. セットアップメニューから、「財務」の下の「価格表」を選択します。
2. 「新規作成」ボタンをクリックします。
3. 価格表を作成します。名称を入力し、通貨・料金単位を選択します。

編集 価格表 ▲

名称

日本円

通常

☐

通貨

日本円 (JPY) ▼

料金単位

文字 ▼

保存

コピー

4. 「価格表」セクションにある「行を追加」ボタンで行を追加し、言語を選択し、単価を入力後、「保存」ボタンをクリックします。

価格表 ▲

行を追加 行を削除 インポート エクスポート

中国語 (台湾)

中国語 (中国)

日本語 (日本、JP)

日本語 (日本)

原文言語

日本語

英語

英語 (アメリカ)

英語 (イギリス)

韓国語

訳文言語

フランス語

ja_jp

->

en_us

1

0.8

クライアントレビュー

最低料金

1000

追加

サービスの設定

1. セットアップメニューから、「自動化」の下の「サービス」を選択します。
2. 「新規作成」ボタンをクリックします。
3. 提供するサービスを設定し、「保存」をクリックします。

編集 サービス

パブリック名	A社様お見積りフォー	
名称	A社様お見積り	
サービスの種類	プロフェッショナル翻訳 ▼	
原文言語	Matu Chin ▲ アイスランド語 ▲ アイスランド語 (ア ▲ アイマラ語 ▼	日本語 (日本) ▲ ▼
訳文言語	Matu Chin ▲ アイスランド語 ▲ アイスランド語 (ア ▲ アイマラ語 ▼	英語 (アメリカ) ▲ ▼
プロジェクトテンプレート	TemplateTest ▲ TEST 1109 ▲ Test1108_Template ▲ XMLインポート設定 ▼	Project Template Tes ▲ ▼
バイヤー	▲ ▼	DemoCustomer ▲ ▼
料金単位	ワード ▼	
課金率スキーム	My Net Rate Scheme ▼	
納期スキーム	My Due Date Scheme ▼	
ジョブの締切日	手動 ▼	
価格表	日本円 ▼	
ワークフローステップ	<input checked="" type="checkbox"/> 翻訳 <input checked="" type="checkbox"/> 校正 <input type="checkbox"/> クライアントレビュー	
<div>保存</div>		

ヒント：サービス作成時、ウィジェットに設定したいプロジェクトテンプレート、バイヤーを併せて設定します。

オートメーションウィジェットの設定方法

1. セットアップメニューの「自動化」の下の「オートメーションウィジェット」を選択します。
2. 「新規作成」ボタンをクリックします。
3. オートメーションウィジェットを設定し、「保存」ボタンをクリックします。

編集 オートメーションウィジェット

名称

URL

サービス

Memsourcesによって作
TEST用 日英
TEST用 英日
★ウィジェット用

A社様お見積りフォー

自動的にすべての言語を選択 ☐

デフォルトのプロジェクトタイトル

デフォルトのプロジェクト管理者

ウィジェットのUI言語

ウェルカム メッセージ

4. オートメーションウィジェット一覧と URL が表示されます。

ヒント：ウィジェット使用時には、こちらの URL を相手先に連絡します。

(※右クリックすると URL をコピーできます)

オートメーションウィジェット		
<div>新規作成</div> <div>削除</div>		
名称	URL	作成日時
★オートメーションウィジェット	37971-adZk5-FEc12	21.10.16:45
TEST用 見積 2	35485-S6h7g-8711	新しいタブで開く(T)
TEST用 見積 1	35484-sRV2A-FPL	新しいウィンドウで開く(W)
アカウントご説明20160531	32403-3apqx-HEM	シークレット ウィンドウで開く(G)
A様お見積りフォーム	25995-Fvc9h-qgal	名前を付けてリンク先を保存(K)...
自動見積もりサンプル20151201	24678-GYHGc-vMx	リンクのアドレスをコピー(E)

*オートメーションウィジェットを使用すると、お見積り作成時・案件完了時に、**Memsource** システムより依頼者宛にメールが自動送信されます。このときのメールの文面は、[メールテンプレートで編集](#)・追加できます。オートメーションウィジェットの編集画面「メールテンプレート」で、メールテンプレートを選択してください。

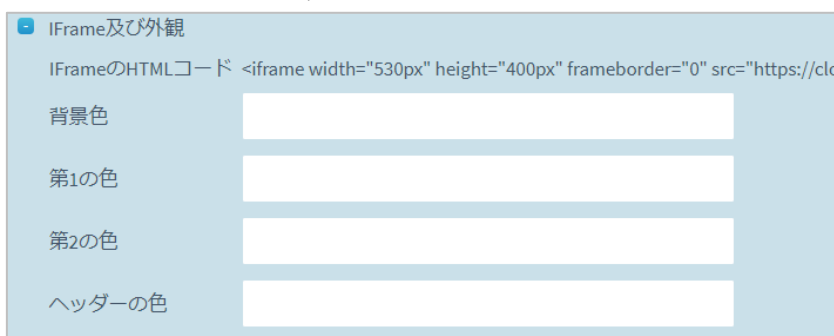
■ メールテンプレート

見積もり準備完了

見積もり失敗

完了した作業

*フォームの色の設定は、「Iframe 及び外観」で変更できます。色の名前 (black, red など) または、数字(#000000, #FF0000 など)を指定します。



オートメーションウィジェットの利用方法

翻訳依頼側は、オートメーションウィジェットの **URL** を開き、フォーム上で翻訳の言語方向を設定します。オートメーションウィジェットを利用するには以下の手順に従います。

1. 「ファイルをアップロード」ボタンから翻訳対象ファイルを選択または直接ドラッグ&ドロップするか、「テキストを貼り付け」ボタンから直接テキストを貼りつけます。
2. 設定に基づき、自動計算された見積もり結果が表示されます。



3. メールアドレスを入力すると、初回のみ「認証メール送信」ボタンが表示されます。ボタンを押すと、入力したメールアドレス宛に **Memsources** システムよりメールが送信

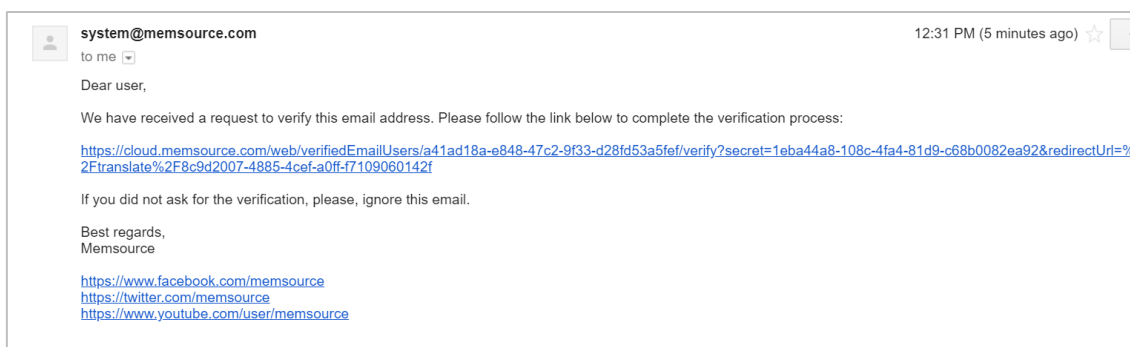
されます。

メールアドレス メールアドレスを入力してください。 メールアドレスの認証を行ってください。 納期 11月4日 2018 21:49:00 発注番号 発注番号を入力(任意)	備考 連絡事項などございましたらこちらにご記入ください。
--	--

ようこそ！

4. 受信したメール内に記載の URL をクリックして認証します。

ヒント：オートメーションウィジェットの URL を開いたのと同じブラウザを使用します。



5. 入力したメールアドレスが承認されています。必要に応じて「備考」に連絡事項を入力してください。見積もりに基づいて翻訳依頼する場合、「送信」ボタンをクリックします。

メールアドレス [redacted]@memsource.com ✓ OK 納期 11月4日 2018 21:49:00 発注番号 発注番号を入力(任意)	備考 連絡事項などございましたらこちらにご記入ください。
---	--

送信

6. Memsource システムより、前のステップで認証したメールアドレス宛に、下記のようなメールが送信されます。同時にオートメーションウィジェットを作成したプロジェクトマネージャー宛に翻訳依頼メールが送信され、翻訳を受注する側の Memsource 上に自動的に

プロジェクトが作成されます。

即時見積もり22703の準備完了

お客様へ、

お見積もり22703の準備が完了しました： <https://cloud1.memsource.com/web/translate/2c1b3871-6495-43a3-b00c-aa018f955476>

ご質問などございましたら、お問い合わせください。

よろしくお願いいたします。

7. 翻訳受注側は、**Memsource** 上で翻訳プロジェクトを進めてください。プロジェクトが完了し、プロジェクトのステータスが「完了」になったタイミングで、**Memsource** システムから依頼者に作業完了を通知するメールが送信され、翻訳済みファイルをダウンロードできるようになります。

完了した作業

お客様へ、

作業が完了し、ダウンロードの準備ができています。

プロジェクトURL： <https://cloud1.memsource.com/web/translate/2c1b3871-6495-43a3-b00c-aa018f955476>

ご質問などございましたら、お問い合わせください。

よろしくお願いいたします。

ヒント：翻訳受注側がプロジェクトのステータスを「完了」→「新規作成」に戻すと、ファイルはダウンロードできなくなります。

プロジェクトのバックアップ

翻訳したファイルは、必要に応じてバックアップをとってください。

作成したプロジェクトは作成日から **6 カ月**を過ぎると、新規ジョブを作成できなくなります。その後、プロジェクト作成日から **12 カ月**過ぎると削除されます。

6 カ月後、下記のようなメッセージがプロジェクトに表示されます。

「このプロジェクトは○○○日以内に完全削除されます。保管期間を 7 カ月延長する」

「延長」をクリックすると、プロジェクトは削除されず、通常どおり新規ジョブが作成できるようになります。こちらの延長手続きは、何度でも繰り返し実施して頂けます。

なお、翻訳メモリ・用語集は上記の手続きなく、すべて保存されます。

The screenshot shows the 'テンプレートサンプル日英' project settings. On the left, it lists project details: ID #188, name 'テンプレートサンプル日英', creator 'demo in Japanese', creation time '07:9 14:30', and status '新規作成'. On the right, it shows configuration options: '原文言語' (JA), '訳文言語' (EN), '機械翻訳' (Microsoft with Feedback), '管理者' (Memsources), 'ベンダーの管理者' (Memsources), 'ドメイン' (Memsources), 'サブドメイン' (Memsources), 'クライアント' (Memsources), and 'ベンダー' (Memsources). At the top right are buttons for '編集', '保存', '共有する', and '削除'. A yellow warning banner at the bottom states: 'このプロジェクトは3日以内に完全削除されます。保管期間を7ヶ月延長する。'

ヒント：削除されたプロジェクトも、削除後 30 日以内であれば、「ごみ箱」に残っています。

すべてのプロジェクトを自動保存されたい場合には、サーバー保管費をお支払いただく必要がございます。アカウントご購入時に同時にお手続き可能です。

The screenshot displays the pricing page with two main sections. The first section, '登録期間' (Registration Period), shows three options: '3ヶ月' (selected), '6ヶ月', and '12ヶ月' (with a '10%のディスカウント' discount). Below this, the total cost for 4 accounts is listed as 'EUR 1800'. The second section, '保管期間' (Retention Period), shows three options: '1年間' (selected and marked '無料' - free), '2年間' (EUR 10 / project manager / month), and '3年間' (EUR 20 / project manager / month). Below this, the total cost for 4 accounts is listed as 'EUR 0'. A red box highlights the '1年間' option and its associated costs.

オンラインストレージとの連携

Memsources を Google Drive や Dropbox などのオンラインストレージサービスと連携させ、クラウド上のファイルからジョブを作成することができます。

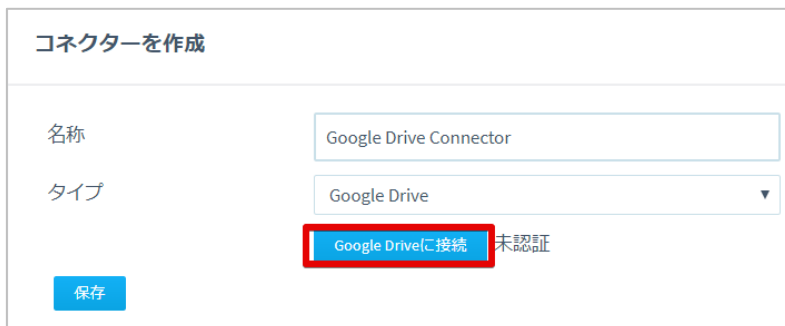
エディション別の連携外部ツールについては以下のページを参照します。

<https://help.memsources.com/hc/en-us/articles/115003948452-Connectors>

オンラインストレージとの連携方法

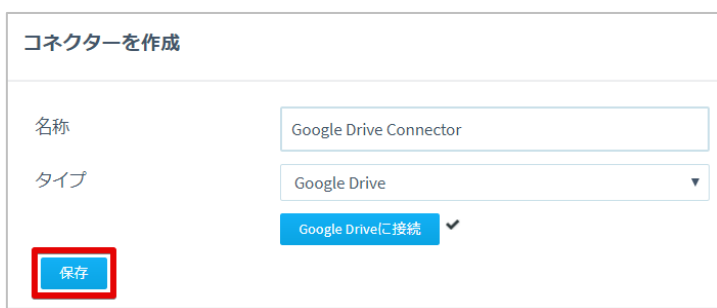
1. セットアップメニューから、「インテグレーション」の下にある「コネクタ」を選択します。
2. 「新規作成」ボタンをクリックします。
3. コネクタの名称を入力します。

4. タイプから接続先のサービスを選択し、必要事項を記入し認証（接続）を行います。



ヒント：認証の際にポップアップウィンドウが表示されます。ブラウザの設定でポップアップが許可されていることを確認してください。

5. 「保存」ボタンをクリックしてコネクターの作成は完了です。



オンラインストレージからのジョブ作成

オンラインストレージとの連携が完了すると、クラウド上のファイルから直接ジョブを作成し、翻訳が完了したら同じフォルダにアップロードできます。

オンラインストレージからジョブを作成するには以下の手順に従います。

1. ジョブ作成のページに移動します。
2. 「オンラインストレージから追加する」ボタンをクリックします。



3. 接続先(上記手順で設定したコネクター)を選び、対象のファイルを選択します。
4. オンラインストレージからジョブを作成すると、「ダウンロード」に「オンラインストレージにエクスポートする」という項目が追加されます。これを選択すると、ファイルを取得したフォルダに「セットアップ/サーバー設定/ファイル名の変更」の規則に応じ

たファイル名で保存されます。

外部ツールとの連携

Memsource は各種の外部ツールと連携するためのコネクタを装備しています。

エディション別の連携外部ツールについては以下のページを参照します。

<https://help.memsource.com/hc/en-us/articles/115003948452-Connectors>

ここでは、Wordpress との連携について記載します。

WordPress との連携

WPML プラグインによって多言語化されている Web サイトなら、Memsource と WordPress を連携することにより Web サイトコンテンツの翻訳フローを自動化できます。

WordPress と Memsource を連携するには以下の手順に従います。

1. WordPress に Memsource のプラグインを追加します。ダッシュボードにログインし、「Plugins」の「Add New」をクリックしてください。
2. プラグインのページに移動したら「Memsource Connector」を検索し、インストールを開始します。
3. インストールが完了したら、ダッシュボードに戻り新しく追加された Memsource という項目を選択すると、トークンが表示されます。
4. Memsource Cloud のセットアップ/インテグレーション/コネクタで WordPress を設定します。その際に上記のトークンが必要になります。

ヒント：「WordPress site URL」には URL のプレフィックスを入力します。例えば、WordPress サイトの管理ページの URL が「<http://blog.memsource.com/wp-admin/index.php>」なら「<http://blog.memsource.com/>」の部分を入力します。

2 段階認証

2 段階認証とは、アカウントにログインする際に通常のユーザー名とパスワードに加えて、もう一つ別の認証コードを必要とする仕組みです。万が一パスワードが漏洩した場合でもアカウントを安全に保てる機能であり、Google や Amazon など様々なサービスで導入されています。

この 2 段階認証を **Memsorce** でもオプションとして利用できます。タイムベースワンタイムパスワード(TOTP)と呼ばれるテクノロジーを用いており、毎回のログイン時に事前に登録したスマートフォンなどのアプリで生成されるコードの入力が必要になります。コードの生成には、「**Google Authenticator**」や「**Authy**」などの任意の認証アプリをお使い頂きます。紛失などに備えて複数のデバイスを登録しておくことも可能です。

この機能を有効にすると、**Memsorce** クラウドだけでなく、デスクトップエディタを開いた際にもコードの入力が求められます。

2 段階認証を設定するには、以下の手順に従います。

1. **Google Authenticator** などの認証アプリをスマートフォンなどのデバイスにダウンロードします。
2. セットアップメニューの「ユーザー設定」の下にある「2 段階認証」をクリックします
3. 認証アプリで QR コードをスキャンします。QR コードの代わりに秘密鍵が表示される場合があります。その際はアプリに秘密鍵を手入力してください。
4. アプリが生成した数字のコードを「**Code**」欄に入力して「**Verify**」をクリックします

以上の手順により、お使いの **Memsorce** アカウントが認証アプリと接続されます。これ以降、ログインする度にアプリが自動生成するコードの入力が必要になります。

なお、管理者および **PM** は、ユーザーが設定した 2 段階認証を無効にすることができます。「セットアップ」→「ユーザー」から「編集」をクリックすると、2 段階認証が設定されているユーザーの場合、「無効」に切り替えるコマンドが表示されます。

ヒント: **Google** アカウントをログインに使用しているユーザーは **Memsorce** の 2 段階認証はご利用になれません。**Google** の 2 段階認証については以下のサイトを参照します。

<https://www.google.com/landing/2step/>